

## 刊行にあたって

新潟大学における環日本海地域研究の長い伝統の上に、私たちは、二〇〇五年に人文社会・教育科学系附置環東アジア研究センターを組織しました。環日本海地域を相対化しながら、その特質を解明することを目的の一つとする本センターでは、日本列島、朝鮮半島、東北アジア（中国東北地方・ロシア極東地方）、北アジア（モンゴル）、中央アジア（東西トルキスタン）、およびベトナムなどの地域を対象とする歴史系のメンバーが、研究に従事しています。その成果の一端は、すでに年報と資料集の刊行やワークショップの開催などを通じて還元してきました。

このような本センターの活動は、その発足以来、大学のプロジェクト推進経費や学系の研究支援経費など学内の競争的資金により運営されてきましたが、これらの資金により、新たに「環東アジア研究叢書」を刊行することになりました。

本叢書は、環東アジアすなわち東アジア周縁地域を対象とした歴史研究のたんなる寄せ集めではなく、現代的な課題をふまえて設定されたテーマに対して、メンバーが取り組んだ成果を披露するものです。また本叢書の刊行を通じて、新潟大学が掲げる「アジア研究の積極的な推進」の実質化と具体化に寄与したいと考えています。ひとりでも多くの皆さんから、ご意見やご批判を賜わることができるよう、願ってやみません。

二〇一二年二月

新潟大学人文社会・教育科学系附置環東アジア研究センター長 關 尾 史 郎